

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 7 部門第 3 区分

【発行日】平成22年4月8日(2010.4.8)

【公開番号】特開2006-238013(P2006-238013A)

【公開日】平成18年9月7日(2006.9.7)

【年通号数】公開・登録公報2006-035

【出願番号】特願2005-49111(P2005-49111)

【国際特許分類】

H 0 4 N 5/225 (2006.01)

【F I】

H 0 4 N 5/225 F

【手続補正書】

【提出日】平成22年2月19日(2010.2.19)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

被写体の映像を撮影する撮影手段と、  
前記撮影手段によって撮影された映像を記録可能な外部記録媒体と、前記外部記録媒体とは異なる外部機器とに接続可能な接続手段と、  
操作手段と、  
前記接続手段に接続されている機器を判別する判別手段と、  
前記判別手段による判別に応じて前記操作手段の機能を切り替えるように制御する制御手段と、を有することを特徴とする撮影装置。

【請求項 2】

前記操作手段として、前記撮影手段によって撮影される映像のズームを行えるズーム操作部を有し、  
前記制御手段は、前記判別手段が、前記接続手段に接続される前記外部機器が TV チューナーの機能を有すると判別した場合、前記ズーム操作部が、TV の選局を行うように機能するように制御することを特徴とする請求項 1 に記載の撮影装置。

【請求項 3】

前記ズーム操作部は、常に中立位置へと復帰するように構成され、  
前記制御手段は、撮影モードの場合は前記ズーム操作部によるズームのスピードをその操作量によって可変させるように制御し、TV 視聴モードの場合は前記ズーム操作部による選局のスピードを該ズーム操作部の操作量によって可変させるよう制御することを特徴とする請求項 2 に記載の撮影装置。

【請求項 4】

前記操作手段として、前記撮影手段による撮影のフォーカス調整部を有し、  
前記制御手段は、前記判別手段が、前記接続手段に接続される前記外部機器が TV チューナーの機能を有すると判別した場合、前記フォーカス調整部が、TV の音量調整を行うように機能するように制御することを特徴とする請求項 1 または 2 に記載の撮影装置。

【請求項 5】

前記フォーカス調整部は、連続的に滑らかに回転するように構成された操作部材であることを特徴とする請求項 4 に記載の撮影装置。

【請求項 6】

被写体の撮影及びＴＶ映像の表示制御を行える撮影装置であって、  
被写体の映像を撮影する撮影手段と、  
ズーム操作部と、

表示パネルにＴＶ映像を表示するよう制御するＴＶ映像表示制御手段と、

当該撮影装置を少なくとも前記撮影手段によって撮影を行う撮影モードと、ＴＶ映像を表示するよう制御するＴＶ視聴モードとに切り替えて制御し、該撮影モードの場合は、前記ズーム操作部を前記撮影手段によって撮影される映像のズームを行うための操作手段として機能させ、該ＴＶ視聴モードの場合は前記ズーム操作部をＴＶ映像の選局を行うための操作手段として機能させるように制御する制御手段と、を有することを特徴とする撮影装置。

【請求項 7】

前記ズーム操作部は、常に中立位置へと復帰するように構成され、

前記制御手段は、前記撮影モードの場合は前記ズーム操作部によるズームのスピードをその操作量によって可変させるように制御し、前記ＴＶ視聴モードの場合は前記ズーム操作部による選局のスピードを該ズーム操作部の操作量によって可変させるよう制御することを特徴とする請求項 6 に記載の撮影装置。

【請求項 8】

前記撮影装置は更に、外部機器を接続する接続手段と、

前記接続手段に接続された外部機器がＴＶのチューナー機能を有する機器であるか否かを判別する判別手段と、を有し、

前記制御手段は前記判別手段の判別に従って前記撮影モードと前記ＴＶ視聴モードとを切り替えて制御することを特徴とする請求項 6 または 7 に記載の撮影装置。

【請求項 9】

前記接続手段は、ＴＶのチューナー機能を有する機器と、前記撮影手段によって撮影した映像を記録可能な外部記録媒体とに接続可能であり、

前記判別手段は、前記接続手段に接続された外部機器が、前記ＴＶのチューナー機能を有する機器か、前記外部記録媒体であるかを判別し、

前記制御手段は、前記判別手段によって前記ＴＶのチューナー機能を有する機器が接続されたと判別されると、当該撮影装置を自動的に前記ＴＶ視聴モードに切り替えて制御することを特徴とする請求項 8 に記載の撮影装置。

【請求項 10】

被写体の映像を撮影する撮影ステップと、

前記撮影ステップによって撮影された映像を記録可能な外部記録媒体と、前記外部記録媒体とは異なる外部機器とに接続可能な接続手段を介してそのいずれかを接続する接続ステップと、

操作ステップと、

前記接続ステップにおいて接続されている機器を判別する判別ステップと、

前記判別ステップによる判別に応じて前記操作ステップで操作される操作部が持つ機能を切り替えるように制御する制御ステップと、を有することを特徴とする撮影方法。

【請求項 11】

被写体の撮影及びＴＶ映像の表示制御を行える撮影装置の撮影方法であって、

被写体の映像を撮影する撮影ステップと、

ズーム操作部からの操作を受け付けるズームの操作ステップと、

表示パネルにＴＶ映像を表示するよう制御するＴＶ映像表示制御ステップと、

当該撮影装置を少なくとも前記撮影ステップによって撮影を行う撮影モードと、ＴＶ映像を表示するよう制御するＴＶ視聴モードとに切り替えて制御し、該撮影モードの場合は、前記ズーム操作部を前記撮影ステップによって撮影される映像のズームを行うための操作手段として機能させ、該ＴＶ視聴モードの場合は前記ズーム操作部を前記ＴＶ映像表示制御ステップにより表示するＴＶ映像の選局を行うための操作手段として機能させるように制御する制御ステップと、を有することを特徴とする撮影方法。

## 【請求項 1 2】

被写体の映像を撮影する撮影手段と、前記撮影手段によって撮影された映像を記録可能な外部記録媒体と、前記外部記録媒体とは異なる外部機器とに接続可能な接続手段と、操作手段と、を備えた撮影装置を制御するためのプログラムであって、

前記接続手段に接続されている機器を判別する判別手段と、

前記判別手段による判別に応じて前記操作手段の機能を切り替えるように制御する制御手段としてコンピュータを機能させるためのプログラム。

## 【請求項 1 3】

被写体の映像を撮影する撮影手段と、ズーム操作部と、を備え、被写体の撮影及びＴＶ映像の表示制御を行える撮影装置を制御するためのプログラムであって、

表示パネルにＴＶ映像を表示するよう制御するＴＶ映像表示制御手段と、

当該撮影装置を少なくとも前記撮影手段によって撮影を行う撮影モードと、ＴＶ映像を表示するよう制御するＴＶ視聴モードとに切り替えて制御し、該撮影モードの場合は、前記ズーム操作部を前記撮影手段によって撮影される映像のズームングを行うための操作手段として機能させ、該ＴＶ視聴モードの場合は前記ズーム操作部をＴＶ映像の選局を行うための操作手段として機能させるように制御する制御手段としてコンピュータを機能させるためのプログラム。

## 【請求項 1 4】

被写体の映像を撮影する撮影手段と、前記撮影手段によって撮影された映像を記録可能な外部記録媒体と、前記外部記録媒体とは異なる外部機器とに接続可能な接続手段と、

操作手段と、を備えた撮影装置を制御するためのプログラムであって、

前記接続手段に接続されている機器を判別する判別手段と、

前記判別手段による判別に応じて前記操作手段の機能を切り替えるように制御する制御手段としてコンピュータを機能させるためのプログラムを記録したコンピュータに読み取り可能な記録媒体。

## 【請求項 1 5】

被写体の映像を撮影する撮影手段と、ズーム操作部と、を備え、被写体の撮影及びＴＶ映像の表示制御を行える撮影装置を制御するためのプログラムであって、

表示パネルにＴＶ映像を表示するよう制御するＴＶ映像表示制御手段と、

当該撮影装置を少なくとも前記撮影手段によって撮影を行う撮影モードと、ＴＶ映像を表示するよう制御するＴＶ視聴モードとに切り替えて制御し、該撮影モードの場合は、前記ズーム操作部を前記撮影手段によって撮影される映像のズームングを行うための操作手段として機能させ、該ＴＶ視聴モードの場合は前記ズーム操作部をＴＶ映像の選局を行うための操作手段として機能させるように制御する制御手段としてコンピュータを機能させるためのプログラムを記録したコンピュータに読み取り可能な記録媒体。

## 【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0009

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0009】

また、本発明の撮像装置は、被写体の撮影及びＴＶ映像の表示制御を行える撮影装置であって、被写体の映像を撮影する撮影手段と、ズーム操作部と、表示パネルにＴＶ映像を表示するよう制御するＴＶ映像表示制御手段と、当該撮影装置を少なくとも前記撮影手段によって撮影を行う撮影モードと、ＴＶ映像を表示するよう制御するＴＶ視聴モードとに切り替えて制御し、該撮影モードの場合は、前記ズーム操作部を前記撮影手段によって撮影される映像のズームングを行うための操作手段として機能させ、該ＴＶ視聴モードの場合は前記ズーム操作部をＴＶ映像の選局を行うための操作手段として機能させるように制御する制御手段と、を有することを特徴とする。

【手続補正 3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0013

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0013】

以下、図面に基づき本発明によるカメラ装置の好適な実施の形態を説明する。

図1～図4は、本発明を適用したビデオカメラの各側面を示した図である。1はビデオカメラ本体、2は開閉自在な蓋2aを備えたメモリーカードスロット、3はメモリーカードスロット2に挿入可能なTVチューナーカード、4は液晶表示パネル、5はズームレバーもしくはボタン、6はメニューボタン、7はレンズ、8はマイク、9はトリガーボタン、10は電源切り替えスイッチ、11はテープ・カード切り替えボタン、12はメモリーカード、15はビューファインダー、16はレコーダー操作ボタン、17はスピーカー、40はフォーカスリングである。

【手続補正4】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0030

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0030】

また、CHの切り替えは、ズームボタン5によって操作することができるよう割り当てられる。チューナーカードを使用するときには、カメラ部は使用されることが無いため、操作性に優れ、直感的にもCH切り替え操作ボタンと認識し易いズームボタン5をCH切り替えに割り当てることで、操作性に優れたTV視聴が可能となる。

【手続補正5】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0031

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0031】

ところで、ズームボタン5は常に中立位置へと復帰するように構成され、ズームインのスピードを、その押し量によって可変できるように構成されている。その押し量が多い時には高速ズーム、一方、少ないときには低速ズームとなるように構成されている。TV視聴時において、ズームレバーをCH切り替えに使用する場合にも、その押し量によって、CH切り替えのスピードを可変させることも可能である。